

# ホームズ君の 絵でみるわが家の断熱診断書

日付: 2022年12月10日 9:34:57

建物コード: 000000

建物名: 寿の家新築工事

邸名	寿の家新築工事(プラン1)	床面積	70.38㎡ (1階: 41.41㎡、2階: 28.98㎡)
診断者	株式会社高月工務店一級建築士事務所 高月義夫	地域区分	6地域 (山口県-田布施町)
建築地			

●断熱性能

- UA値(外皮平均熱貫流率): UA値(ユージー値)とは床、外壁、屋根、天井や開口部などを通して外部に逃げる熱量を、外皮全体で平均した値で、熱損失の合計を外表面積の合計で除したものの値が小さいほど断熱性能、省エネ性能が高いことを示します。また、このUA値で品確法住宅性能表示制度の断熱等性能等級2~4を判定します。省エネ基準に適合していれば等級4となります。
- 断熱強度(熱の逃げにくさ): 本システムにおける独自の指標です。H28年基準における断熱性能(熱の逃げにくさ)を100とした場合の診断中の建物の断熱性能の値で、H28年基準のUA値を診断中の建物のUA値で除し100倍したものです。値が100を下まわると、断熱性能はH28年基準より劣ると言えます。

**等級4**  
H28年基準 UA:0.87

**等級6**  
診断中の建物 UA:0.46

屋根/天井	高性能グラスウール16K170mm	U値 0.24	屋根/天井	Jパネル内部あらわし、クランボード30mm全面外張り → 二重張り施工	U値 0.48
外壁	高性能グラスウール16K70mm	U値 0.53	外壁	そとん壁+内部PB貼、充填パーフェクトバリア通気無	U値 0.26
窓	複層ガラス(A11未満)	U値 4.07	窓	引違テラス戸	U値 2.00
床/基礎	高性能グラスウール16K80mm	U値 0.48	床/基礎	杉厚板30mm+フェノバ40mm床断熱	U値 0.32

UA値(外皮平均熱貫流率)判定

断熱強度

H28年基準より良い

189

100

H28年基準 診断中の建物

▼【参考】年代別の断熱性能

断熱等性能等級	-	等級2	等級3	等級4	等級5	等級6	等級7
建築年代	S55年以前	S55年~H4年	H4年~H11年	H11年~	-	-	-
相当する省エネ基準 ※	基準なし	S55年基準	H4年基準	H28年基準	ZEH基準	HEAT20 G2相当	HEAT20 G3相当
UA値(W/mK)	-	1.67以下	1.54以下	0.87以下	0.6以下	0.46以下	0.26以下
断熱強度	29	52	56	100	145	189	335
イメージ							

※ 省エネ基準とは…昭和55年、平成4年、平成11年、平成28年に改正された省エネ法で示された改正当時の建物の断熱性能を示す基準

●建物から逃げる熱量(熱損失量)[W/K] ※屋根・天井・外壁・窓などから損失する熱量のこと。断熱性能が低いほど建物から逃げる熱量は多くなる。

▼熱損失量

H28年基準	開口	外壁	屋根/天井	床	基礎	換気
167.14 [W/K]						
診断中の建物	開口	外壁	屋根/天井	床	基礎	換気
119.04 [W/K]						

▼(部位別)建物が損失する熱量(W/K)の比較

熱損失量が 29% 少ない

H28年基準 167.14 [W/K]

診断中の建物 119.04 [W/K]

●室温・年間暖冷房費 ※省エネ基準WEB算定プログラムと同じ算出方式で、暖冷房設備から求められる一次エネルギー消費量をもとに求めた電気代のこと

▼冬期予測室温

▼暖冷房費

年間暖冷房費

年間13,005円

暖冷房費が安い

H28年基準 ¥89,830

診断中の建物 ¥76,825

●平面図・断熱性能3Dパース ※断熱性能3Dパースとは建物の各部位のU値をカラーで表示したもの。赤色の部位ほど熱は移動しにくい、青色の部位ほど熱が移動しやすいことを示している。

方位 1F

2F